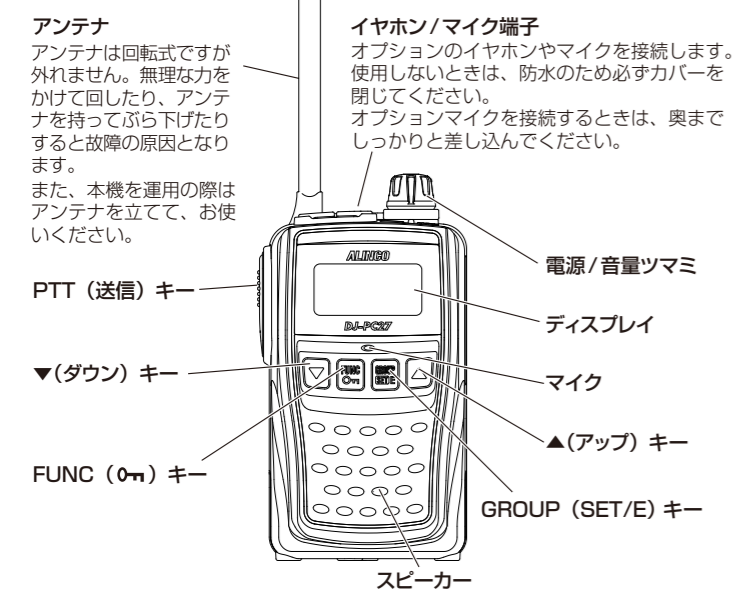
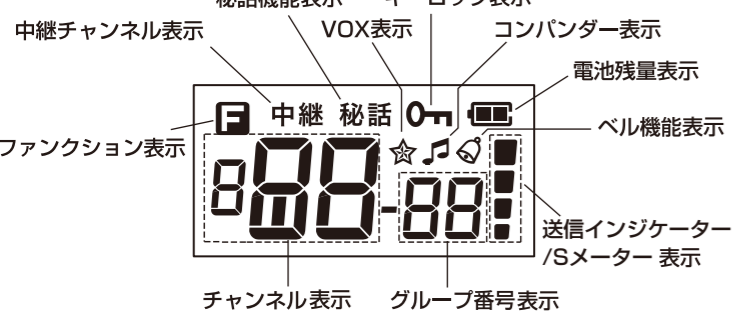


各部の名前とはたらき

■前面部



■ディスプレイ



基本操作

ここでは基本的な操作を簡単に記載しています。本書に記載していないセットモードや注意点などは詳細取扱説明書を参照ください。

■キー操作
「キーを押す」とはしっかり押した後、すぐに離すことを指します。「キーを長押し」とは約2秒間押し続けることを指します。

■電源を入れる
電源/音量ツマミを時計方向に回すと電源が入り、待受表示になります。電源を切る場合は反時計方向に回します。

■音量を調整する
電源/音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。

注意
電源を入れたときの「Er-nG」表示はイヤホン断線検知の異常をお知らせしています。プラグを正しく挿入しているか確認し、直らないときは新品に交換してください。

交互通話

電波の届くところにいれば人数に制限なく通話できます。一人が話す音声を残り全員が受信します。複数の人が同時に送信することはできません。

■チャンネルを合わせる
[▲]又は[▼]キーを押して交互通話用チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

■受信する
信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

メモ
●本機はテールノイズキャンセラー機能を搭載しており、受信終了時の「ザッ」というノイズが低減されています。
●本機は受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとバッテリーセーブ機能が動作します。本機能動作時に信号を受信すると通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

■送信する

信号を受信していないことを確認してから、[PTT]キーを押します。ディスプレイの送信インジゲーターが点灯し送信が始まります。[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「プブプ」が鳴り送信できません。[PTT]キーを離すと受信待受状態に戻ります。

中継通話

直接では電波の届かない相手と別売の中継器を介して交互に通話できます。電波の届くところにいれば人数に制限なく通話できます。

■チャンネルを合わせる
[▲]又は[▼]キーを押して中継通話用チャンネルのL10～18、b12～29を選択します。ディスプレイに「中継」が点灯します。

■受信する
信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

■送信する
信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。ディスプレイの送信インジゲーターが点灯し、送信が始まります。[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

メモ
技術の違いで起きる相性で、他社製の中継器を介しての通信はできないことがあります。が、本機も中継器も異常ではありません。中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機にも同じグループ番号を設定してください。

注意
●中継通話用チャンネルでは、子機同士の直接通話はできません。
●それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。子機・中継器間、子機・子機間は10m以上離してください。

コールトーン機能

通話グループ全員に注意喚起ができます。送信中に[▲]又は[▼]キーを押している間、コールトーン(ビープ音)が鳴ります。相手を呼び出すことができます。[▲]と[▼]キーでは音色が異なります。

注意
セットモード「ビープ音量」をOFFにしているとき、呼び出し音は鳴りません。

グループトーク機能

グループトーク機能を設定するとグループ番号が一致した場合にのみ受信音が聞こえます。他のユーザーと混信しやすい場所で設定すると便利です。

■[GROUP]キーを押す
チャンネル表示の右側にグループ番号が点灯します。

■グループ番号を合わせる
[FUNC]キーを押しながら[▲]又は[▼]キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じ番号に合わせます。グループ番号は01～50を選択できます。一般的に01番がよく使用されます。混信を避けるため01番以外に設定することをおすすめします。

■送信する
[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。チャンネルとグループ番号が一致している人とのみ通話ができます。ただしグループトーク機能を設定していない人にはこちらの声が聞こえます。

キーロック機能

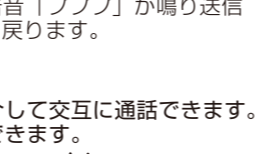
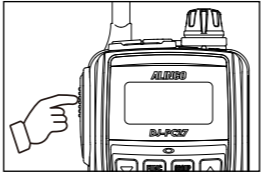
キーロックをしておくと誤動作を防止できます。ロック中でも電源オンオフと音量調整はできます。

■簡易キーロック
[FUNC]キーを長押しします。「Loc1」が点滅した後、「0m」が点灯します。解除するには同じキー操作を行います。

■通常キーロック
[FUNC]キーと[GROUP]キーを同時に長押しします。「Loc2」が点滅した後、「0m」が点灯します。解除するには同じキー操作を行います。

減電池表示

電池の残容量はディスプレイに4段階で表示されます。



メモ
●「電源が入らない」「ON/OFFを繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。新しい電池と交換するか、充電電池を充電してください。しばらくご使用にならないときは、必ず電池を取り外してください。液漏れの故障は修理できません。
●セットモード「電池選択(bt)」で使用する単三形乾電池(AL)かバッテリー(Li)を正しく選択しないと減電池表示が不正確になります。

セットモード項目

各種機能を用途や好みに合わせてカスタマイズすることができます。セットモードの詳細い説明は詳細取扱説明書をご覧ください。

■セットモードの操作
①[FUNC]キーを押しながら[SET]キーを押します。セットモードに入り、項目が表示されます。
②[SET]キーを押すごとに項目が切り替わります。[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
③[▲]又は[▼]キーを押して設定値を変更します。
④[PTT]キーを押して設定を完了します。

注意
[FUNC]キーを押し始めたら、すぐに[SET]キーを短く押してください。[FUNC]キーだけを押しすぎるとキーロックします。[FUNC]キーだけを長押しして、解除してからやり直してください。

No.	項目	機能説明	選択項目	初期値
1	bt	電池選択(アルカリ/Li-ion)	AL/Li	AL
2	CP	コンバンダー(雑音低減)	oF/on	oF
3	vo	VOX(音声検出送信)	oF/Lo/Hi	oF
4	SC	秘話	oF/on	oF
5	bP	ビープ音量(キー操作音、各種アラーム音)	oF/Lo/Hi	Lo
6	SP	スタートビー(送信開始音)	oF/on	oF
7	EP	エンドビー(送信終了音)	oF/on/PP	oF
8	bL	ベル(呼び出しお知らせ)	oF/on	oF
9	LP	ランプ	oF/5/on	5(秒)
10	PH	PTTホールド(送信保持)	oF/on	oF
11	Pt	PTTオン/オフ(送信禁止)	oF/on	on
12	At	中継自動接続手順	oF/1/2	(on)2
13	Er	イヤホン断線検知	oF/on	on
14	Cb	コールバック	oF/on	oF
15	Po	送信出力(Lo:1mW/Hi:10mW)	Lo/Hi	Hi
16	EmG	緊急通報	oF/on	oF
17	rmt	接客モード	oF/Hd/tH/vo	oF
18	iVL	本体音量レベル変更	Lo/Hi	Hi

リセット

設定が分からなくなったときは初期化します。[FUNC]キーを押しながら電源を入れます。ディスプレイが全点灯中に[FUNC]キーを離すと、「L01」が表示され工場出荷状態に戻ります。

その他の機能

■ACSH(アクシュ)モード
すでに使用しているトランシーバー（交互通話は他社製も含む）のチャンネルとグループ番号をスキャンして、本機に同じ内容を自動設定する機能です。交互通話・中継通話に対応しています。交互通話の場合は、あらかじめ通話モードを設定したマスター機と本機、中継通話の場合は、あらかじめ中継通話に設定したマスター機と中継器と本機が必要です。他社のトランシーバーと混用するときも、それをマスター機にしてACSHすると、チャンネル表示方法の違いで起きる誤設定が避けられます。

-設定方法-
①マスター機と任意の本機を用意します。誤判定を防ぐために近距離で作業してください。複数台同時に設定が可能です。
②本機の電源を切ります。
③ディスプレイに「ACSH」と表示されるまで[GROUP]キーを押し続けながら電源を入れます。
④表示後、マスター機を送信し続けます。
⑤数秒から最長で2分程度待ちます。マスター機の電波を受信すると「ピピ」音とともにディスプレイに「Ac-rr」と表示されます。
⑥設定が終わると「ブルル」音とともに、ディスプレイに「oo oo」が表示後、自動的に再起動します。全ての子機のACSHが終わったらマスター機の送信を停止して、通話できるかお互いに確認します。

注意
●自動設定中は電源を切らないでください。自動設定できなくなります。途中で電源が落ちた時は始めからやり直してください。
●本機が電波を検出しているときは、マスター機のマイクから音声が入らないようご注意ください。電波が乱されて正常に判定できないことがあります。
●自動設定を行うときは、マスター機のグループ番号は01～38にすることをおすすめします。他の番号に設定すると誤判定により違うグループ番号に設定されることがあります。
●自動設定後はキーロック状態になります。手動でチャンネルやグループ番号を変更するときは[FUNC]キーを長押しして解除します。

以下の拡張機能の操作は表紙の二次元コードから詳細取扱説明書をご覧ください。

■エアクローン
設定が済んだ本機の状態を、無線で他のDJ-PC27に一度にクローンできます。ACSHと異なり、セットモード設定まで含めてクローンします。

■デュアルオペレーションモード
メイン/サブに設定した2つのチャンネルを交互に受信して、そのどちらも通話できるモードです。

■リモコンモード
本機をリモコンとして弊社製中継器を遠隔設定できる機能です。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない	電池の入れ方が間違っている	電池を正しく取り付けてください
	電池が消耗している	新しい電池に交換するか充電電池を充電してください
音が出ない	音量が低すぎる	適切な音量に調整してください
受信できない	相手と設定が違う	CH/グループ番号を合わせてください
	相手と距離が離れ過ぎている	相手に近づいて通話してください
送信できない	信号を受信している	信号がなくなってから送信してください
	3分通信制限を超過している	[PTT]キーを離して2秒経過後に送信してください
キー操作できない	キーロックされている	キーロックを解除してください
充電できない	端子が汚れている	端子の汚れをふき取ってください
	充電池が劣化している	新しい充電池に交換してください
電源を入れると「Er-nG」表示が出る又はイヤホンから音が出ない	イヤホンがしっかり入っていない イヤホンが断線している	奥までねじ込んでください。 イヤホンを新品に交換してください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守できなくなることがありますのでご了承ください。

オプション一覧

EBP-70 Li-ionバッテリーパック(1000mAh)
EDC-158A ツイン充電器セット
EDC-158R 充電器スタンド
■EME-29A
■EME-57A
■EME-39A
イヤホンマイク(耳かけ型)
イヤホンマイク(カナル型耳かけ)
咽喉イヤホンマイク

EDC-184A シングル充電器セット
EDC-162 連結充電用ACアダプター
EDC-139 ACアダプター
ESC-61 ソフトケース
EME-6 ストラートコードイヤホン(オープンエア型)
EME-26 カールコードイヤホン(オープンエア型)
EME-50 ストラートコードイヤホン(耳かけ型)
■EME-21A イヤホンマイク(カナル型 グレー)
■EME-21AB イヤホンマイク(カナル型 ブラック)
■EME-46A
■EME-53A(※1)
EME-522A
EME-652CA
EME-652MA
EME-762MA
EME-762PA
EMS-59(※2)
ヘッドセット
ヘルメット用ヘッドセット
イヤホンマイク(オープンエア型)
イヤホンマイク(カナル型)
イヤホンマイク(耳かけ型)
イヤホンマイク(オープンエア型)
イヤホンマイク(オープンエア型)
スピーカーマイク

(※1) バイク用ヘルメットには使用できません。
(※2) スピーカーマイクは、PTTホールド、VOX機能、コールバック機能をご使用になりません。
■ 壊れにくく、修理ができる業務用です。

定格

送受信周波数	レジャーチャンネル(Lチャンネル)	422.2000～422.3000MHz(交互)
		421.8125～421.9125MHz(中継受信) 440.2625～440.3625MHz(中継送信)
ビジネスチャンネル(bチャンネル)		422.0500～422.1750MHz(交互)
		421.5750～421.7875MHz(中継受信) 440.0250～440.2375MHz(中継送信)

周波数制御チャンネル	421.8000MHz(受信)、422.1875MHz、440.2500MHz(送信)
電波形式	F3E(FM)/F1D(FSK)
送信出力	10mW/1mW
受信感度	-14dBu(12dB SINAD)
音声出力	800mW以上(内部スピーカー、外部出力：8Ω)
通信方式	単信、半復信
定格電圧	DC3.7V(Li-ion/バッテリー使用時)/4.5V(単三形乾電池使用時)
消費電流	送信時：約75mA、待受時：約80mA バッテリーセーブ時：約20mA
動作温度範囲	-10℃～+50℃(ただし、充電は0℃～+40℃)
寸法	54.8(W)×94(H)×29.2(D)mm(突起物除く)
質量	約100g(本体のみ)
使用時間の目安	単三形アルカリ乾電池使用時　：約60時間 Li-ionバッテリー使用時　　：約26時間

仕様、定格は予告なく変更することがあります。本書の説明用イラストは実物と実態や形状が異なったり、一部の商品を表示している場合があります。本書の内容を無断転載することは禁止されています。乱丁、落丁はお取り替えいたします。



Radio Communication Solutions

株式会社 ジャパンエニックス

JAPAN ENIX CO.,LTD.

-
- 東京本社 03-5715-2351
 - 関西支店 06-6583-7700
 - 名古屋営業所 052-908-1440
 - 九州営業所 092-432-9077
 - 札幌営業所 011-733-6120
 - 仙台営業所 022-290-9381



◀各住所は
こちらから

<https://www.jenix.co.jp/>